

「学校教育情報交換会」を開催しました。

さる12月19日（火）に、農業の担い手育成を担う、県内の関係機関の関係者が集まり「新規就農者育成に向けた学校教育情報交換会」を開催しました。

本交換会は、本年度で3回目の開催で、県下の重要な農業の担い手育成機関である農業関係高校や農業大学校、国際園芸アカデミーに加え、県農業経営課、学校支援課、そして本年新たに発足したぎふアグリチャレンジ支援センターの関係者が集い、新規就農者育成に向けた今後の教育方向や学生指導方法等について、情報交換を行いました。

高等学校の生徒数が今後減少見込であり、あわせて専業農家の子弟等の農業後継者の生徒数も大幅に減少しているなか、「就農に対する興味・関心をどのようにして持たせるか」といった点や、「就農に向けて、今後学校教育のなかでGAP（生産行程管理）に係るカリキュラムをどのように取り組んでいったら良いか」等の課題について熱心に討議が行われました。

